◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆

# 愛媛県立図書館 読書会協力図書
# 新規受入セットのご紹介（一般向け） 令和6年版

## 5 暮らしの科学

### 559 梅おばあちゃんの贈りもの

**乗松 祥子/著 誠文堂新光社 2023 年 191p**

愛媛県東温市出身、梅おばあちゃんこと乗松祥子さんは、82 歳でありながら現役の梅職人。秘伝の梅干しの作り方や梅を使った料理レシピを掲載。梅仕事に真摯に向き合い、少しでもよい製品を届けたいというまっすぐな思いが、読み手の心を引き付ける。文筆家・内田也哉子さんとの対談では、梅のこと以外に、生きるということ、子育てのこと、樹木希林さんのことなどを語っている。心豊かな日々を送るためのヒントが見つかる一冊。

## F 小説

### F600 荒地の家族

**佐藤 厚志/著 新潮社 2023 年 158p**

膨張した海が何もかもを飲み込んだ災厄から十年余り。今なお被災の爪痕が残る地を、男は彷徨うように生きていく。妻の死、すれ違う息子との関係、再婚相手からの拒絶、自堕落的に日々を過ごす地元の友人……。決して「元」には戻らない、やるせなさに溢れる色彩の欠けた日常に、小さな希望は見つかるか。被災地に生きる人々の渇きと痛みを真正面から描き切った、第 168 回芥川龍之介賞受賞作。

### F601 木挽町のあだ討ち

**永井 紗耶子/著 新潮社 2023 年 267p**

ある雪の夜、江戸は木挽町（こびきちょう）の芝居小屋・森田座の裏手で一件の仇討ち事件が起こった。赤い振袖に唐傘をさし、美女に扮した前髪の若衆・菊之助が、父の仇で博徒の作兵衛を討ち取った。芝居さながらの見事な仇討ちの裏に隠された真実とは。美少年・菊之助をめぐる、五人の芝居小屋関係者の語りで真相が明かされる時代劇ミステリー。各登場人物が抱える人生の背景にも心揺さぶられる。第 169 回直木三十五賞、第 35 回山本周五郎賞受賞作。

### F602 汝、星のごとく

**凪良 ゆう/著 講談社 2022 年 344p**

瀬戸内の島に育った暁海（あきみ）と、自由奔放な母親に連れられ、島の高校に転校してきた櫂（かい）。将来への期待と不安が入り混じる 17 歳の出会いから、刻一刻と表情を変える海のように、時が流れるほど変わっていく二人の関係。島に残った者と、島を離れた者。惹かれ合い、すれ違う二人の物語の結末は……。2023 年本屋大賞受賞作。

## F　小説

**F603　ラブカは静かに弓を持つ**

**安壇 美緒/著　集英社　2022 年　300p**

全日本音楽著作権連盟に勤める橘は、学生時代のチェロ歴を買われ音楽教室への潜入捜査を命じられる。目的は、過去の著作権法の演奏権を侵害している証拠をつかむこと。誘拐未遂事件から深海の悪夢を見続けてきた橘は、チェロを通して穏やかさを取り戻していくが――。スパイ×音楽小説。『小説すばる』連載を加筆し単行本化。

第 25 回大藪春彦賞受賞。第 69 回青少年読書感想文全国コンクール高等学校の部課題図書。2023 年本屋大賞第2位。